

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

開会年月日時刻

令和7年10月2日(木) 午後3時00分

閉会年月日時刻

令和7年10月2日(木) 午後3時54分

会議の場所

館林市役所 501AB会議室

会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 協議・調整事項
 - (1) 館林市教育大綱について
 - (2) 教育委員会事務局の組織機構について
- 4 その他
- 5 閉会

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>出席者</p>	<p>館林市長 館林市教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員 委員 委員</p> <p>多 田 善 洋 中 村 美江子 井 上 美智子 堀 口 哲 哉 木 戸 浩 之 栗 原 昇</p>
<p>説明等の ため出席 した者</p>	<p>(事務局) 政策企画部長 教育次長 秘書課長 企画課長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 学校教育課長 文化振興課長 スポーツ振興課長 向井千秋記念子ども科学館長 図書館奉仕係長 教育総務課総括係長 書記</p> <p>吉 田 智 之 戸 叶 俊 文 関 口 和 之 新 井 孝 行 木 村 和 好 森 田 秀 利 平 井 智 久 中 村 豊 田部井 修 田 中 洋 子 原 幸 恵 岩 瀬 美花里 横 山 瑠璃子</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

教育総務課長	<p>定刻となりましたので、ただいまより令和7年度第1回館林市総合教育会議を開催いたします。</p> <p style="text-align: right;">(午後3時00分)</p> <p>会議に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。会議次第、資料1、参考資料1、参考資料2、資料2の順にお配りしております。それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。はじめに、会議の招集者であります多田市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>皆様こんにちは。教育長をはじめ教育委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、心より感謝を申し上げます。</p> <p>本日の議題は、(1)館林市教育大綱について、(2)教育委員会事務局の組織機構についての2つを掲げさせていただきました。</p> <p>総合教育会議は、市長と教育委員会とが情報の共有を図り、意見を交わす大切な機会でございます。皆様と忌憚のない意見交換をさせていただきたいと考えております。</p> <p>また、ご覧になった方も多いと思いますが、先日9月23日まで、県立館林美術館におきまして「はしもとみお木彫展～いきものたちとの旅～」が開催されました。開館以来の大盛況となりまして、2か月間の会期で昨年度1年間の入館者数を超える6万人以上の方がお越しになりました。関係機関と連携しながら、食とアートのまちたてばやし取組を進め、本市の魅力を市内外に広く発信してまいりたいと考えておりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>結びとなりますが、本日の会議が実りあるものとなるよう、皆様のご協力をお願い申しあげまして、挨拶とさせていただきます。</p>
教育総務課長	<p>ありがとうございました。では、会議に入ります。</p> <p>ここからは、館林市総合教育会議運営要綱第3条の規定に従い、多田市長に議長を務めていただきます。よろしくをお願いいたします。</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>市長</p>	<p>それでは、これより議長を務めさせていただきます。なお、今後の進行に際しましては着座にて失礼いたします。お手元の次第をご覧くださいと思います。</p> <p>3 協議・調整事項に入ります。</p> <p>(1) 館林市教育大綱についてを議題とします。こちらにつきまして、協議・調整事項とした理由を教育委員会事務局からお願いいたします。</p>
<p>教育次長</p>	<p>館林市教育大綱について、協議・調整事項とした理由を申し上げます。教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、市長が総合教育会議において教育委員会と意思の疎通を図りながら、教育に関する総合的な施策の目的や方針を定めるものでございます。</p> <p>現在の本市教育大綱は、令和2年度の総合教育会議におきまして、館林市第6次総合計画の将来像や基本目的を共有しながら、その実現に向けた教育分野における重点的な取組事項を掲げ、策定されました。この教育大綱が対象とする期間は、令和3度から令和7年度の5年間となっております。市といたしましては令和8年度以降の教育施策の根本的な方針を定めていく必要がございます。</p> <p>このことから、今回協議・調整事項として提案させていただき、館林市第6次総合計画の基本構想や現在策定中の後期基本計画に合わせながら、調製しましたお手元の素案を基に皆様からご意見をお伺いし、次期教育大綱を策定してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、関連する資料が用意されていますので、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>館林市教育大綱について</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

	(別紙資料に基づき説明)
市長	ありがとうございました。 ただいま、教育委員会事務局から説明がありました。これよりご質問やご意見をお伺いしたいと思います。
井上委員	気になった点を何点かお話しさせていただきます。 3ページに「学びはじめるきっかけづくりや学習意欲を高めるための啓発活動の充実」とありますが、どのようなことを想定されているのでしょうか。
生涯学習課長	例えば、ふるさとづくり市民フェスティバルや公民館まつりなど、学習者の成果発表の場を通して、社会貢献や達成感から学習意欲の向上を目指していきたいと考えております。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。 感想ですが、5ページの「歴史文化や文化財を活用した独自性あるまちづくりの展開」というのは良い取組だと思います。 また、2ページに「不登校や発達障がいなど、多様なニーズに応じた教育機会の提供」とありますが、多様なニーズとはどこから生まれてきたものなのか教えてください。ほかの箇所でもニーズという言葉が使われておりますが、少々わかりにくいと感じました。
学校教育課	教育支援委員会というものがございまして、そちらでは適切な就学先に向けて審議を行っております。その子にとって通常学級が望ましいのか、特別支援学級が望ましいのか、特別支援学校が望ましいのか、一人一人の実態に応じて望ましい学びの場に向けて審議しております。そのような形で、「多様なニーズに応じた教育機会の提供」と記しております。

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

井上委員	学校で決めたニーズと保護者のニーズとの差は、どのように解消していらっしゃいますか。
学校教育課長	教育支援委員会の方では、検査等も含めてどの就学先が望ましいか判断が出ます。判断は出ますが、子どもや保護者の考えもございますので、保護者の考えを重要視して、話し合いながら就学先を決めております。
井上委員	<p>通常学級に子どもたちが元気に通っていて、それは発達障がいや不登校の子も皆同じです。保護者の立場から考えますと、皆と仲良く日々を過ごし、様々な経験を重ねられるような環境で子どもを育てたいと思っている方が多いのではないかと推察します。</p> <p>学校の中を受け入れやすい体制に少しずつ変えていくような、学級経営向上の推進といった点における支援についてはどのようにお考えでしょうか。</p>
学校教育課長	合理的配慮というものがございまして、お子さんが通常学級に在籍した場合、ほかの子どもたちと一緒に学校生活を送れるようにできるだけ配慮をするということで、その子に応じた配慮を考えております。近年は、以前よりも特別支援学級や特別支援学校への理解が深まり、要望も増えている状況です。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
栗原委員	大綱を読んだ感想です。2ページの「I 自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまち」について、本当に令和の学校を取り巻く世間の目は厳しいものがあると思いますが、全体的に子どもを守る姿勢が少し弱いと感じました。学校には、いじめ問題、不審者、登下校の安全確保、性被害や虐待など、喫緊の課題が多くあります。もう少し子どもたちを守る視点が大綱に出ていると

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>教育総務課長</p>	<p>良いかと思いました。</p> <p>こちらの教育大綱は、基本的には先ほど申し上げた上位計画である市総合計画と連動して、およそ同じ内容が記載されております。委員がおっしゃるような子どもを守る視点につきましては、毎年度ご覧いただいている教育行政方針の中で記載する形で対応したいと考えております。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>参考資料にも重点的な取組の内容が書かれていましたが、学校課題の大きなものの一つなので、具体的な取組に入れ込むことはできないかと思いました。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>先ほどお話があったように、全てが大綱に記載されているわけではございませんが、教育行政方針には人権教育や生徒指導等の部分でいじめ問題や不登校の取組について記しておりますので、そちらで具体的に示してまいりたいと思っております。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>栗原委員のお話にも関連しますが、3ページには「学級講座等を通じた情報モラル教育の推進」とあります。情報化社会の中でICTが勉強等で役立つ場面もありますが、同時にSNSやインターネット等の情報モラル教育も非常に大切だと感じております。そういった子どもたちに対する教育も大切ですが、例えばスマートフォンのアクセス制限や適切な使用時間の設定基準を設けるなどの、子どもたちの保護者に対する教育も非常に大切だと考えております。</p> <p>その点において、子どもたちだけではなく保護者に対しても強く情報モラル教育を推進していくような表記があれば良いかと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>保護者への啓発につきましては、学校教育課でスマートフォンや携帯電話、ゲーム機等をどの程度使用しているかの調査を毎年行っております。子どもたちのスマートフォンの所有率や使用時間、家庭でのル</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>木戸委員</p>	<p>ールなどを調査しております。また、「安全な使用について」というリーフレットを作成しまして、全家庭に配布しております。その中でスマートフォンの使い方やルールづくり、危険性などについて啓発を行っております。中には、親子で参加するスマートフォン教室を行っている学校もございます。</p> <p>ありがとうございます。取組に関しては引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>また別の箇所となりますが、5ページに「7 官民連携による日本遺産「里沼」の活用内容の充実」とあります。私も官民連携をして里沼間をつなぐ交通網の整備やグルメ、宿泊施設、イベントなどにおいて、民間の力を使うべきだと思っております。民間から発信される情報というのは、それが各々のサービスに関する情報であっても間接的に里沼そのものの認知を向上させるようなPRにつながるでしょうから、ぜひ民間にも協力していただければと思います。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>里沼も随分定着してきた中で、今後更にどのようにバージョンアップしていくかがこれからの課題ではないでしょうか。その点は様々な文化施設と、木戸委員がおっしゃったように民間の力を活用しながらつなげていくことが重要だと思います。今後の展開はどのような形になるのでしょうか。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>先日、上毛新聞の一面にも大きく掲載されましたが、今後はステージを1つ上げなくてはならないということもございまして、里沼のブランディングをより強化していく必要がございます。ブランディング化が進むことで、里沼の中で経済を回していくシステムづくりが重要になりますので、例えば里沼関連商品を開発したところから基金に一部お金を入れていただき、その中から新たな施策を展開していくような循環をしていくことがこれからの目標です。</p> <p>現在、一般社団法人かいという団体が文化庁の認定を受けて里沼のブ</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>ランディングについての可能性調査を行っております。そういった事業を行っていければということで、様々な店舗を回ってヒアリングを手伝っている状況ですので、引き続き検討を進めてまいりたいと思います。</p>
堀口委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう1点、5ページに「3 競技スポーツの推進」とあります。先日世界陸上に出場した柳田選手をはじめ、プロサッカー選手やプロ野球選手など、館林市からもたくさんプロ選手が輩出されております。スポーツを推進していく上で、そういった方々に協力いただいて何かPRすることなどはお考えでしょうか。</p>
スポーツ振興課長	<p>先日活躍された柳田選手はふるさと応援大使という立場でもいらっしゃいますので、市役所南側の正面玄関には懸垂幕を掲げさせていただいております。そのほか、スポーツに関わるふるさと応援大使の方や、それ以外でも活躍されている方がおります。そういった方々にも何かしらの形で館林市をPRしていただけるようなこと、あるいは、その方々を我々が市として応援できるようなこと、今具体的にこうということは申し上げられませんが、そういったことを常に検討させていただいている状況でございます。</p>
堀口委員	<p>ありがとうございます。</p>
栗原委員	<p>4ページに「文化財関連施設の運営維持と展示会等の実施」とあります。先ほど市長がおっしゃっていたような、非常に魅力があるイベントを実施すると人は集まると思います。田山花袋記念文学館などは資料も充実していて、交流のある作家との書簡のやりとりなど、専門家にとっては魅力的な展示内容ですが、一般の方にも浸透するような取組をするのはいかがでしょうか。例えば、子どもたちの国語の表現力を高めるような、田山花袋記念文学館で行う詩や短歌のコンクールな</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

文化振興課長	<p>ど、何かしら学校を交えた取組ができるといいなというのが私の希望です。</p> <p>ご指摘のとおり、若い世代にこれから田山花袋をいかにつないでいくかというのが非常に大きな課題であると私どもも考えております。おっしゃるようなコンクールなどができたら素晴らしいことだと思います。</p> <p>今進めているのは、以前委員にもご出席いただきましたが、昨年度と一昨年度に実施した高校生に田山花袋の作品を朗読発表していただく催しです。将来声優になりたい方や演劇を仕事にしていきたい方などにヒットしまして、熱心な高校生に参加していただきました。まずはそちらの部分に力を入れていき、将来的には小学生や中学生を巻き込んだ企画も考えていきたいと思っております。</p>
栗原委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
井上委員	<p>2ページに「ICTを有効に活用した教育の推進」とありますが、年々そういった需要が高まっていて成功しているように感じます。その反面、昔から言われている読み書きそろばん等、書くことへの子ども離れといいますか、例えば書き順や文字の形を学ぶ機会、書くことに関する宿題の量なども減っているとお聞きします。文部科学省の書く漢字の許容も随分増えて、昔でしたら不正解だったものが正解になるといったこともあるようなのですが、ICTを有効活用すると同時に、昔ながらの書く教育についても可能であればどこかに盛り込んでいただけるとありがたいです。書くことは文字が整っていく過程と共に自分の精神も成長していくものですので、間違った文字を消して書き直すなどの作業は自己形成に非常に役立つと思っております。</p>
学校教育課長	<p>委員のおっしゃるとおりで、書くことは本当に大切だと認識しております。ICTが導入された初期は、まずは使ってみるということが前</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>面に出ておりました。徐々に子どもたちも先生も使えるようになってきて、これからはICTを効果的に活用するということが重点だと思っております。必要に応じてICTを使い、書く時は書く、読む時は読むというような学習活動が大切だと感じております。</p>
<p>市長</p>	<p>現在も辞書は使っていますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>英語は小学生の卒業記念品で辞書が配布されておりますが、検索で調べる子どもも多いです。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>4ページには「社会教育施設を効果的に活用した学習機会の充実」や「次代の郷土づくりの担い手となるボランティア等の人材育成」などがあります。こちらはあくまで生涯学習という視点におけるものですが、現在夏休み中に城沼公民館で行われているクールスタディは非常に良い取組だと思っております。クールシェアたてばやしとして公民館も7館登録されていて、ほかの公民館への広がりも期待しているのですが、なかなかボランティアの方がいらっしゃらないというお話を伺っております。勉強を教えられなくても、見守りができる方など、そういったボランティアを充実させて他の施設にも広げていただければありがたいので、今後の取組に期待したいと思えます。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>クールスタディにおきましては、勉強を教える側の人材育成というのも一つの課題になっておりますので、今後はそういった人材づくりや地域づくりに努めてまいりたいと思っております。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>よろしく願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>教育長からはいかがでしょう。</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>教育長</p>	<p>今回の素案を拝見しまして、総合計画後期基本計画の重点が大綱の重点的な取組の中に盛り込まれていることがわかりました。また、文化財保存活用地域計画の内容も具体化されており、市の計画に沿った内容になっております。教育大綱は教育行政方針で更に具体化されるもので、総合計画と教育行政方針の間の中位目標であると私は考えておりまして、今回、結果的に非常にシンプルになったと思っております。委員の皆様から、子どもを守る視点がなくなってしまったのではないかと、ICTの推進についての有効活用だけでは読み取れない部分があるのではないかと、保護者に対しても情報モラル教育を推進していくべきではないかといったご意見をいただきました。シンプルになった分、「安全・安心」や「豊かな心を育む」といった言葉もなくなっております。例えば、学校適正規模・適正配置の推進とだけありますが、これは人数が少なくなったから行うだけの目的ではなく、質の高い学びを保障することが大前提になるものです。</p> <p>そのように、中位目標であってもわかりやすい言葉を入れてもいいと思います。たくさんのご意見も考慮しながら、大元の内容が大きく変わらなくても、もう少し文章表現を検討しながら最終的に整えていけるといいと思いました。</p>
<p>市長</p>	<p>お手元の資料は、大綱の素案として示されたものです。皆様からいただきましたご意見を踏まえ、第6次総合計画との整合性を図りつつ進めてまいりたいと思います。</p> <p>本日のご協議を踏まえ、また、ご意見等を承りながら次回で再度ご協議の上、次期教育大綱を策定していきたいと考えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>教育次長</p>	<p>次に、(2) 教育委員会事務局の組織機構についてを議題とします。こちらにつきまして、協議・調整事項とした理由を教育委員会事務局からお願いいたします。</p> <p>教育委員会事務局の組織機構について、協議・調整事項とした理由を申し上げます。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条では、「教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織する」と明記されております。私ども教育委員会事務局は、同法第25条4項に基づき、教育委員会からその具体的な事務の執行を委任されております。この事務局の立場における教育行政の機能を一層明確化し、教育委員会の事務執行を円滑にすることを目的として、教育委員会事務局及びその司令塔である教育次長の名称変更について、市長部局から提案があり、今回ご協議いただきたく議題としたものでございます。具体的には、教育委員会事務局の行政組織上の名称を「教育部」へ、教育次長の職名を「教育部長」へと改める案となります。</p> <p>現行体制の下における所掌のわかりにくさ、対外的な呼称の不統一等の課題を踏まえ、市民や関係機関にとってわかりやすく、庁内横断や地域連携を促す体制を整備するため、皆様からご意見をいただき検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、関連する資料が用意されていますので、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>教育委員会事務局の組織機構について (別紙資料に基づき説明)</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>ただいま、教育委員会事務局から説明がありました。説明の中で市長部局からの提案とありましたが、私から提案させていただいたものでございます。今後、学校の適正規模・適正配置等を進めていく上でも、市民の方々へ教育委員会事務局として様々な提案をさせていただく際、教育次長という職名が教育長の代理者であるような誤解を招く可能性がございます。県内他市におきましても、教育部、そして教育部長の名称を多く用いていると私自身も感じたものですから、組織の位置付けを明確にする必要性を感じ、提案させていただいた次第です。そちらを踏まえまして、ご質疑やご意見などをお伺いできればと思います。</p>
栗原委員	<p>学校現場にいた頃は何か保護者等のトラブルがあると、教育委員会に訴えてやると言われることもありました。保護者からも教育委員会という組織は曖昧に捉えられているのかもしれない。部制になると、市長もおっしゃっていたように責任者が明確になって良いと思いますので、私は賛成です。</p>
井上委員	<p>私も賛成です。委員になった当初、なぜ教育次長は教育長の隣にお座りにならないのかと思っておりました。国では大臣の下に事務次官などもおりますが、そのような流れで教育次長なのかと納得したこともありました。</p> <p>教育委員になる際、教育委員会制度を教えていただいて理解しましたが、私のように誤解していらっしゃる方もいるかと思っておりますので、わかりやすく良いと思います。</p>
堀口委員	<p>私も教育委員になるまでは教育委員会の中にどのような部署があるのかいまいちわかりませんでした。実際はたくさんの部署があつて、それを束ねているのが教育次長ですので、ご提案があつたように明確になった方がよろしいかと思っております。</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

木戸委員	<p>私も教育委員になる際、広い意味での教育委員会と狭い意味での教育委員会というお話を伺いましたが、委員になって初めて教育長と教育委員、そして事務局の違いについて認識しました。いわゆる教育委員会というものが何なのかということがはっきりするのは非常に良いと思います。</p> <p>参考までに、各市の状況を提示されておりますが、群馬県はどのような組織体制なのでしょう。</p>
教育総務課長	<p>群馬県も教育次長という職がございます。</p>
木戸委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
市長	<p>参考までに、高崎市は教育部長のほかに教育次長もいるようです。</p>
教育次長	<p>高崎市においては部制を敷いておりますが、教育次長と教育部長のほかに公民館担当部長、学校教育担当部長がいらっしゃるようです。</p>
市長	<p>では最後に、教育長からいかがでしょうか。</p>
教育長	<p>私も教育委員会と事務局の関係が明確になるとと思います。また、市の組織全体の呼び方も部に統一されて良いと思っておりますので、皆さんと同じ意見です。</p>
市長	<p>ご意見等いただきありがとうございます。</p> <p>今後の組織機構の在り方につきましては、関連機関との協議を進めながら検討していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
市長	<p>皆さまのご協力をもちまして、無事全ての議題を終えることができま</p>

令和7年度第1回館林市総合教育会議議事録

教育総務課長	<p>した。本日協議されたことにつきましては、教育委員会と市長とがお互いに尊重しあい、協力しあいながら進めてまいりたいと思います。これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次第の4に「その他」とございます。何かこの場でお話ししておきたいことがある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(委員等から「なし」の声あり)</p>
教育総務課長	<p>以上をもちまして、総合教育会議の全日程を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(午後3時54分)</p>